

浄法寺漆

生産地：岩手県全域、青森県三戸郡、八戸市、十和田市、
秋田県鹿角郡小坂町、鹿角市、大館市

登録団体：岩手県浄法寺漆生産組合



農林水産大臣登録第73号



特性

硬化後の強度が非常に優れているうえに、安定した品質を有する漆。透明度、硬化時間、粘度等のバリエーションも豊富であることから、漆芸家や塗師、文化財修復職人などの需要者から高く評価。国宝や重要文化財など日本を代表する建造物の修理・修復に使用。

地域との結び付き

江戸時代に盛岡藩が漆の生産を奨励して以来、国内最大のウルシ原木資源を継承。伝統的な技法を習得した漆掻き職人により生産されてきた国産漆の約7割を生産する一大産地。
(平成27年実績)